

令和 6 年度事業計画書

社会福祉法人 美竹会

第1章 はじめに

令和5年度は、新型コロナウイルスが5類となり徐々に従来の生活様式が回復しました。昨年度末には在宅を中心に大きく落ち込んだ利用についても年度当初から緩やかに復旧してまいりました。一方で燃料費や諸物価高騰などこれまでも増して厳しい経済状況に加え、人材不足については以前にも増して厳しい状況となり、コロナ後最も利用の回復が遅れていた定期巡回事業については、利用者様や関係者様と協議の上、やむなく事業を廃止し訪問入浴や訪問介護といった特に人材不足の顕著な部門へ人員を振り向けるとともに、損失の拡大に歯止めをかける苦渋の対応となりました。昨年外部のコンサルタントにより人件費構造の問題点が指摘されましたが、現場の理解により特に特養、ショート、デイサービス部門において計画通りの人員配置の適正化がなされました。また、新たに開設したグループホームみその豊川インターについては開設当初より順調にご利用いただきました。また計画を前倒しして共用型デイサービスを開設することもでき、その利用申し込みも順調に推移しています。これによって前期までの損益構造が大幅に改善し期中では単月収益を確保できるまでになりました。令和5年度については定期巡回事業の整理に伴う損失とグループホームみその豊川インター開設及びケアハウスみその大規模修繕による経費負担により年度収支ではマイナスとなりますが、収益構造は着実に改善したと言えます。

令和6年度には、介護報酬の改定が行われ体制加算など大きく変動があります。これらの加算項目についてしっかりキャッチアップし情報ツールといったICTやセンサーやロボットといった技術を活用した効率的な運営と利用者にとって安心安全で満足度の高いサービスの実現を限られた人員でこなしていかなければなりません。そしてスタッフには処遇の大幅改善と動機付けを同時に行っていかなければなりません。収益向上の面では特養、ショートステイのもう一段の効率化、デイサービスの利用促進、訪問介護のサービス提供割合の見直し、訪問入浴の運営安定化などの具体的な課題が挙げられます。どれもが相反しそのような事柄ばかりであり針の穴を通すような取り組みにはなりますが着実に進めてまいりたいと考えています。また、新たに開設した豊川インター拠点を通じて認知症初期段階やフレイルへの対応など新たな地域社会の課題にも積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

第2章 経営理念とサービスのモットー

1 経営理念

私たちは良質な福祉サービスを提供し、ご利用される方の人生を支援することで社会に貢献し続けます
--

福祉事業者として第一に目指すべきことは、「良質な福祉サービス」の提供で

す。

介護や支援の知識を蓄え技術に磨きをかけるだけでは「良質な」サービスを提供することにはなりません。利用者様の個別のニーズに対し、オーダーメイドのサービスを展開していくことがとても重要になります。「介護すること」を目的とするのではなく、「人生」という文脈の中で利用者様の「介護」を考え、「人生の支援をすること」を目的として事業を展開していくことが大切です。

利用者様とご家族がこれまで歩んでこられた人生を幅広く見通して、最善の支援プランを構築してサービスを展開します。そして真に良質なサービスを実現することにより社会福祉法人として責務を果たすことが、地域社会への貢献につながると考えています。

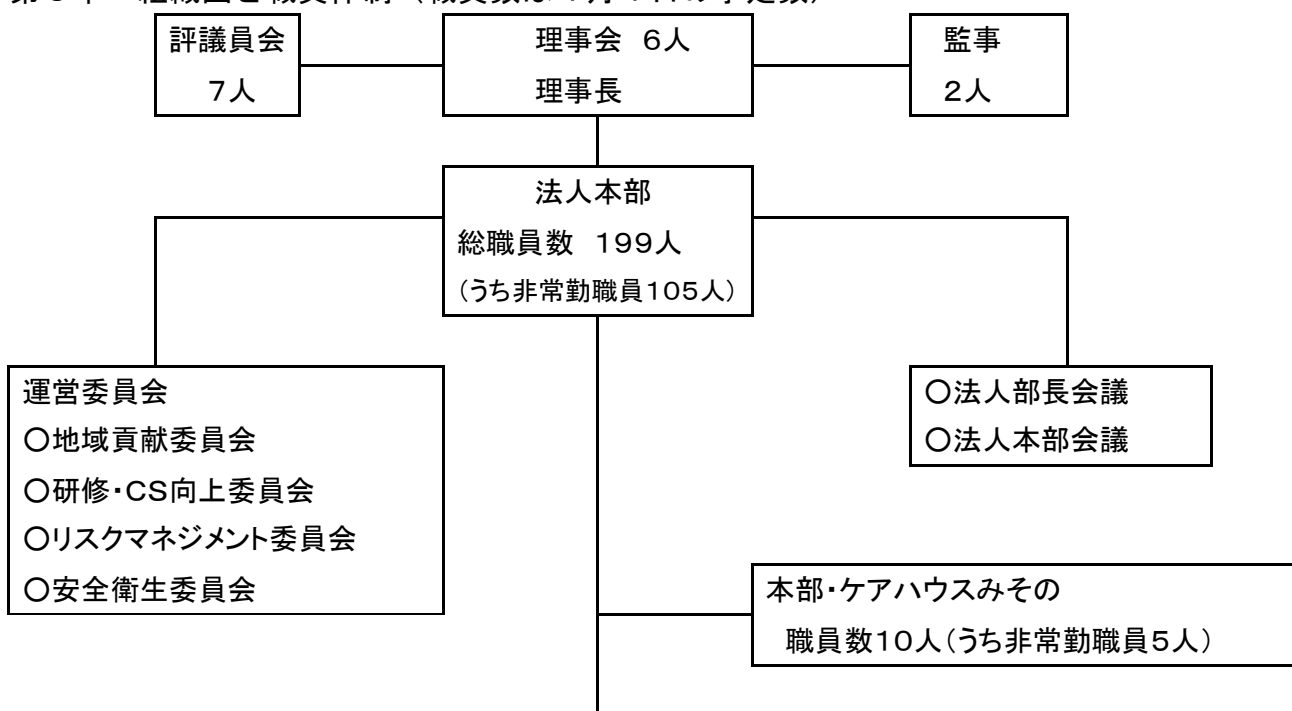
2 サービスのモットー

家庭的できめ細やかなサービスを目指します

「家庭的」とは画一的でなく、利用者様それぞれに個別に対応した柔軟で人と人の血の通ったサービスをイメージしています。

わたしたちは、利用者様の個性を深く理解することに努め、親身に「きめ細やかなサービス」を行うことで信頼感を醸成し、安心して快適なサービスを提供してまいります。

第3章 組織図と職員体制（職員数は4月1日の予定数）



	みその居宅介護支援事務所 職員数4人(うち非常勤職員1人)
	みその訪問介護サービス 職員数25人(うち非常勤職員20人)
	みその訪問入浴サービス 職員数7人(うち非常勤職員6人)
	デイサービスセンターみその 職員数26人(うち非常勤職員15人)
	グループホームみその 職員数22人(うち非常勤職員8人)
	グループホームみその豊川インター 職員数22人(うち非常勤職員7人)
	小規模多機能ホームみその 職員数14人(うち非常勤職員4人)
	特別養護老人ホームみその 職員数31人(うち非常勤職員14人)
	ショートステイみその 職員数11人(うち非常勤職員5人)
	みそのキッズルーム 職員数4人(うち非常勤職員3人)
	栄養調理部 職員数23人(うち非常勤職員17人)

第4章 組織と運営

1 評議員会

- ・法人運営の基本ルールや体制の決定と事後的な監督を行う議決機関
- ・理事会の決議に基づき理事長が招集し必要に応じて開催
- ・評議員 7 人

2 理事会

- ・法人の業務執行に関する意思決定機関
- ・理事長が招集し必要に応じて開催
- ・理事 6 人 監事 2 人

3 法人部長会議

<目的>

事業環境の変化に対応した経営、運営、人事、営業活動など法人全体の総合調整を図る

<運営方針>

- (1) 法人全体の諸課題について協議し、総合調整を行う
- (2) 本部長が招集し随時開催

4 法人本部会議

<目的>

事業所の財務管理や人事管理、サービス管理に係る課題を総合的に協議し、円滑な法人運営を図る

<運営方針>

- (1) 本部長が各事業所管理者を招集し、法人運営の課題の抽出や検討を行う
- (2) 円滑で健全な法人経営のため、財務分析の実施と予算管理に取り組む
- (3) 法人運営やサービスの質向上、人材育成に関する方針や規定、ルール作りを行う
- (4) 本部長が招集し毎月第3月曜日午後6時から開催

5 運営委員会

<目的>

法人全体の施設運営の日常的で短期的な課題を調査研究し、円滑で適正な組織運営を行うことで経営理念の実現をめざす

<運営方針>

- (1) ケアの専門性を追及するとともに利用者の生活の質の向上を図る

- (2) 各事業所や職種間の情報共有と連携体制を強化する
- (3) 課題や問題の協議を行い、現場処遇に関する内容や取組みを法人全体の方針とする調整機能を持つ
- (4) 委員長が招集し毎月1回30分程度開催する

＜委員会の種類＞

- (1) 地域貢献委員会（広報委員会、地域活動委員会）
 - ・目的：法人の動向や行事を利用者や地域住民、市民に情報提供するとともにイベントなどを通じて地域貢献活動を行う
 - ・職務：みその通信編集、ホームページ管理、美情報発信、認知症カフェや作品展などの企画運営
- (2) 研修・CS向上委員会（生産性向上委員会）
 - ・目的：接遇向上や事務改善などを展開しサービス向上を図る。また介護技術のレベルアップを図り主体的に実践できる職員を養成する
 - ・職務：接遇向上、業務改善、手順書整備、家族アンケート、年間研修計画の企画・運営
- (3) リスクマネジメント委員会（事故防止委員会、虐待防止委員会、BCP災害対策委員会）
 - ・目的：BCPに基づき自然災害対策を検討・実施する。業務上の事故を防止するとともに虐待を防止するために必要な措置を講ずる
 - ・職務：自然災害対策、防火防犯対策、情報セキュリティ、事故報告書、車両管理、交通安全、リスクマネジメント、虐待防止
- (4) 安全衛生委員会（感染症及び蔓延防止委員会、BCP感染症対策委員会）
 - ・目的：BCPに基づき感染症対策を検討・実施する。あわせて労働安全衛生法に基づき職場の安全衛生を向上させる
 - ・職務：感染症予防・対策、健康管理、労災、職場巡視、整理整頓、環境美化

6 職場会議

＜目的＞

各事業所に設置し、職場の円滑で適正な運営を図る

＜運営方針＞

- (1) 法人本部会議の決定事項の伝達と現場への周知を行う。
- (2) 各委員会からの提案を協議し決定事項を周知する。
- (3) 管理者が月1回以上招集し、各施設の運営方針を示すと同時に職員からの提案を協議する

第5章 法人本部の組織目標と重点実施項目

(利用者サービス)

1 利用者を中心に捉えた良質で魅力あるサービスを提供します。

- ・新型コロナウイルスなどの感染症対策や災害対策を徹底して実施します。
- ・ブランド力を強化し、地域から信頼される法人を目指します。
- ・法人の情報発信を強化し、選ばれる法人を目指します。

(安定経営)

2 法人の安定経営を図り地域貢献に努めます。

- ・介護報酬改定2024に対応し、経営の安定化を図ります。
- ・利用者数や稼働状況を常に分析し、全事業所の黒字化を目指します。
- ・中長期経営ビジョンや事業計画に基づき事業を展開します。

(人材育成)

3 職員の適正配置と人材確保・育成に取り組めます。

- ・業務量や職員の適性、能力に応じた人員配置と給与改善を行います。
- ・専門性の高い研修受講や介護福祉士などの資格取得を積極的に支援します。
- ・効果的な求人活動を行い優秀な人材を確保します。

(業務改善)

4 業務改善を図りサービス品質の向上を目指します。

- ・ICTのさらなる活用により、情報共有や業務支援体制を整えます。
- ・業務改善を図り、効率的で生産性の高いサービスを提供します。
- ・運営委員会や職場会議を活性化し、サービス品質を向上させます。

第6章 事業所別の組織目標と重点実施項目

ケアハウスみその

(利用者サービス)

1 入居者への理解を深め、個々の生活スタイルを守りつつ安心して日常生活ができるよう支援します。

- ・入居者同士が交流を深める機会が持てるようにクラブ活動、環境を整えます。
- ・感染症対策に努め安心して日常生活が送れるように工夫をします。
- ・入居者個別リストをつくり、業務に反映します。

(安定経営)

2 施設の安定的な維持管理を図り地域に貢献します。

- ・待機者と定期的に連絡を取り状況の把握に努め常時満室を目指します。
- ・低コストで高い効果があがるよう施設や備品を有効利用します。
- ・地域行事へ積極的に参加し地域住民と交流を深めます。

(人材育成)

3 職員の意識向上とスキルアップを図ります。

- ・入居者の事を考え行動できる職員を目指します。
- ・入居者ニーズに対応できる職員を目指し研修に積極的に参加します。
- ・接遇の意識向上を図ります。

(業務改善)

4 業務改善を行い利用者サービスを向上させます。

- ・業務の効率化を目指し業実の見直しに努めます。
- ・ICTを活用して職員間で情報共有や記録に努め業務改善をします。
- ・整理整頓を行い業務に効率の良い環境を整えます。

みその居宅介護支援事務所

(利用者サービス)

1 利用者やその家族の立場にたって自立した日常生活が営めるよう支援します。

- ・利用者やその家族のニーズや課題を抽出するため時間をかけてじっくりと話し合いをします。
- ・介護保険制度の最新情報を収集し、安心して在宅生活を継続できるようプランを提供し利用者サービスを向上させます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策や自然災害対策のBCPを策定します。

(安定経営)

2 安定経営を図り、地域貢献に努めます。

- ・介護報酬改定2024に対応し、事業の安定化を図るとともにケアマネジャ

一の受持ち件数、一人当たり３５件を目指します。

- ・法人内の有資格者に対する研修や受け入れ態勢を整えます。
- ・近隣市町村の事業所や他職種と連携し営業活動を強化するとともに、当法人内の事業所間連携を図り、より良いサービスが提供されるよう支援します。

(人材育成)

3 常に専門的知識や技術の向上に努めます。

- ・定期的な会議や勉強会を開催し全体のレベルアップを図ります。
- ・法人内外の研修に参加し専門的知識や技術の向上を図ります。
- ・実習生の受け入れ態勢を整備します。

(業務改善)

4 業務改善を図りサービス品質の向上を目指します。

- ・業務監査指導に対応できる書類の整備を行います。
- ・居宅会議を活性化し、支援の質の向上を目指します。
- ・ＩＣＴのさらなる活用により、情報共有や業務支援体制を整えます。

みその訪問介護サービス

(利用者サービス)

1 利用者の尊厳を守り、利用者に寄り添った援助をします。

- ・介護保険法に基づく十分な説明を行い、自立した生活が営めるように援助します。
- ・手順書に基づきヘルパー一人一人が統一したサービスを提供します。
- ・現状に沿ったBCPを策定し、安全、安心なサービスを継続的に提供します。

(安定経営)

2 コスト意識を持って安定経営を図ります。

- ・毎月３件（月１８時間）の訪問先を新規獲得し年度末には月平均１０００時間を達成できるように営業を強化します。
- ・介護福祉士の資格取得を援助し、特定事業所加算を維持します。
- ・利用者様のＡＤＬの低下に合わせ、他部署と連携し、利用者様が引き続き安心してサービスを利用できるようにします。

(人材育成)

3 事業所内外の研修に計画的に参加し、ヘルパー全員の資質向上を図ります。

- ・個人情報の取扱規程を見直し、個人情報の秘密保護を厳守します。
- ・虐待防止及び身体拘束について指針を定め、委員会、研修や会議を行い、周知徹底を図ります。
- ・職員の出勤稼働日を増やし、効率的な事業運営に努めます。

(業務改善)

4 業務改善マネジメントを強化します。

- ・事務作業を見直し、効率的な業務を実現します。
- ・ICTを活用し、ヘルパー全員で情報共有を図ります。
- ・援助で困難が生じた場合、ケース会議を行い、情報の共有と改善を図ります。

みその訪問入浴サービス

(利用者サービス)

1 利用者が自立した日常生活を送ることができるよう支援します。

- ・利用者や家族との信頼関係を築き、個々のニーズに合わせたサービスを提供します。
- ・居宅介護支援事業所やその他関係機関との連携を図り、情報共有しサービス向上を目指します。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、現状に沿ったBCPを策定することで安全、安心なサービスを継続します。

(安定経営)

2 コスト意識をもって安定経営を図ります。

- ・月間件数160件を目標に、定期的な営業を行い、新規利用者確保に力を入れます。
- ・備品や車両の計画的なメンテナンスを実施します。
- ・エリアごとの効率的な配車とシフト、利用者調整をします。

(人材育成)

3 職員研修を図り資質向上とサービスの専門性を高めます。

- ・研修を実施し個々のレベルアップを図り、加算取得を目指します。
- ・風通しの良い職場環境を作り職員のやる気、意欲を向上します。
- ・新人職員への教育方法を確立し、職員定着を目指します。

(業務改善)

4 業務改善を図りサービス品質の向上、援助の効率化を目指します。

- ・ICTのさらなる活用により、情報共有や業務支援体制を整えます。
- ・効率的に業務を行うため仕事の平準化・分散化を図ります。
- ・担当者会議、部会など対外的業務に出席できるように人員を配置します。

デイサービスセンターみその

(利用者サービス)

1 利用者の尊厳を守り、その人らしさを大切にして支援します。

- ・介護職員によるアセスメント力を高め、より一層の利用者の ADL の維持・改善に努めます。
- ・入浴や食事、活動において個別対応性を高めたサービス、さらには創作的な活動やワークショップを実施し、利用者が喜んでいただけるサービスを提供します。
- ・利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるように、社会参加活動やボランティア団体活動への参加を支援します。

(安定経営)

2 コスト意識をもち、安定経営を図ります。

- ・常に営業活動に力を入れ一日平均 28 人の利用者数を目指して安定経営を図ります。
- ・事業所継続計画（防災・感染症 B C P）に基づき、研修・訓練など運営に取り組み、安全・安心なサービスを継続します。
- ・近隣ケアマネジャーとの連携を密にして、情報提供の共有を図り、より一層信頼される事業所を目指します。

(人材育成)

3 職員研修を実施して、資質向上とサービスの専門性を高めます。

- ・法人内外研修に参加し、認知症ケアに関する専門的知識や技術の向上を図ります。
- ・定期的に職場研修などを実施し、介護知識や技術の向上を図ります。
- ・職員全員が守秘義務を守り、個人情報の取扱いに留意します。

(業務改善)

4 業務改善を図り、サービスの質の向上を目指します。

- ・コスト意識を持って、設備・備品の点検整備や清掃を行い、有効活用します。
- ・ICT の活用により、職員間で情報共有できるようにします。
- ・良質なサービスの提供に向けた、働きやすい環境を作りため業務改善に努めます。

グループホームみその

(利用者サービス)

1 入居者の尊厳を守り、「その人らしく穏やかに」暮らせる支援をします。

- ・個々の入居者の認知症の状態に応じたケアプランで個別ケアの充実を図り専門的ケアを行います。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策や災害対策を周知し徹底を図ります。
- ・ご家族や協力医療機関との連携を確保し、入居者の状態に応じた医療ニーズへの対応を行います。

(安定経営)

2 安定経営を図り地域に根ざした施設を目指します。

- ・待機者への丁寧な対応と緊密な連絡を行い、定員18名を満たすよう切れ目のない安定した入退去を実施します。
- ・居宅介護支援事業所やその他近隣事業所と連携を密にし、認知症対応型通所介護の定員3名となるよう努めます。
- ・各種災害への安全対策と感染症への対策を強化し、事業継続計画(BCP)をもとに安全、安心なサービスを目指します。

(人材育成)

3 研修や会議を行い人材育成に努めます。

- ・新しい認知症ケアに対応できる人材育成を行います。
- ・利用者やその家族のことを考えて行動できる職員を目指します。
- ・職員の職務能力に合わせた指導・研修を実施し、専門職としての知識・技術の向上を図るとともに資格取得者を増やします。

(業務改善)

4 業務改善を図りサービス品質の向上を目指します。

- ・業務改善提案を行い効率のよい業務を行います。
- ・コスト意識を持って施設や備品の点検整備を行います。
- ・整理整頓を行い、安全な職場環境をつくります。

グループホームみその豊川インター

(利用者サービス)

1 入居者の尊厳を守り、「その人らしく穏やかに」暮らせる支援をします。

- ・認知症の理解と家族支援を含めたケアの充実を図り、信頼関係を構築します。
- ・ご家族や協力医療機関との連携を確保し、入居者の状態に応じた医療ニーズへの対応を行います。
- ・入居者の意欲と持っている力を引き出す自立支援を目指し、生きがい・楽しみのある生活環境の提供を図ります。

(安定経営)

2 安定経営を図り地域に根ざした施設を目指します。

- ・隣接する市町村へも積極的に営業を行い、認知症対応型通所介護の定員6名を確保します。
- ・認知症の啓蒙・啓発に取り組み、認知症の方やご家族にとって生活しやすい地域づくりに貢献します。
- ・各種災害への安全対策と感染症への対策を強化し、事業継続計画(BCP)をもとに研修・訓練の取り組みを行います。

(人材育成)

3 職員研修を実施し資質向上とサービスの専門性を高めます。

- ・ 職員の資質向上のための教育および研修を実施し職員個々の専門スキルの向上に努めます。
- ・ 利用者やその家族のことを考えて行動できる職員を目指します。
- ・ 良質なサービスを提供できるよう接遇マナーの向上を図ります。

(業務改善)

4 業務改善を図りサービス品質の向上を目指します。

- ・ 業務改善提案を行い効率のよい業務を行います。
- ・ コスト意識を持って施設や備品の点検整備を行います。
- ・ 整理整頓を行い、安全な職場環境をつくります。

小規模多機能ホームみその

(利用者サービス)

1 利用者が可能な限り自律した生活を送ることができるよう支援します。

- ・ 利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域での生活を継続できるようご家族とともに支援します。
- ・ 自立支援や重度化防止に資する質の高い介護サービスを推進します。
- ・ 他事業所との連携を図りながら、通いや訪問、宿泊のサービスを柔軟に組み合わせ提供するとともに短期利用の受入を進めていきます。

(安定経営)

2 安定経営を図り、地域貢献に努めます。

- ・ 契約者数を毎月28名となるよう努め、収支の黒字化を実現、継続します。
- ・ 介護報酬改定2024に対応し、加算が安定して取得できるよう努力します。
- ・ 事業所継続計画（防災・感染症BCP）を策定し、計画に基づき研修・訓練など運営に取り組み、安全・安心なサービスを継続します。

(人材育成)

3 職員研修を図り資質向上とサービスの専門性を高めます。

- ・ 様々な研修を実施し、知識や技術を向上させます。
- ・ 利用者やその家族のことを考えて行動できる職員を目指します。
- ・ 外部研修への参加を促し、職員のレベルアップを図ります。

(業務改善)

4 業務改善を図りサービス品質の向上を目指します

- ・ コスト意識を持ち、より効果的なケアを実現します。
- ・ ICTを活用し職員間で情報共有できる仕組みを作ります。

- ・ 整理整頓を行い、清潔で安全な職場を作ります。

地域密着型特別養護老人ホームみその

(利用者サービス)

1 入居者の声に耳を傾け「居心地の良い暮らし」のためのケアをします。

- ・多職種チームで個別ケアを実践すると共に、ユニットケアの特徴を活かした介護サービスを提供します。
- ・丁寧な説明を心掛け、ご家族と対話を重ねることで支援の充実を図ります。
- ・人生の最終段階において入居者のご家族の選択を尊重し、最期の時までその人らしく生きることを支援します。

(安定経営)

2 家族と地域の信頼に応え、安定的な経営を目指します。

- ・介護報酬改定2024に対応し、多職種の専門性を活かした上位加算の取得を目指します。
- ・感染症と自然災害に備えた事業継続計画（BCP）を策定し、安全、安心なサービスを継続します。
- ・東三河広域連合、豊川市介護保険連絡協議会との連携を強化することで、地域と共生し、信頼に応える施設を目指します。

(人材育成)

3 職員研修を実施し、資質向上とサービスの専門性を高めます

- ・職場研修の計画的な実施により、サービスの専門性の向上を図ります。
- ・ケアの根拠を理解し、考え、実践できる職員を育成します。
- ・職員の特性を活かし、個別目標に沿って資格取得に向けた支援を行います。

(業務改善)

4 業務改善マネジメントを強化します。

- ・良質なサービスの提供に向けた、働きやすい環境を作るために ICT を活用し、さらなる業務改善をすすめます。
- ・適性とスキルのバランスに応じた人員配置をし、スタッフの誰もが活躍できる環境を整えます。
- ・コスト意識を持って設備・備品の点検整備、有効活用を行います。

ショートステイみその

(利用者サービス)

1 在宅からの継続した生活が安心して送れるよう支援します。

- ・利用者ニーズにあった個別ケアに力を入れ、24時間シートを活用し一人一人に寄り添えるようにします。

- ・緊急時利用への対応、突発的な利用追加希望への対応を強化します。
- ・感染症や自然災害の対策とBCPを策定し、安全・安心できるサービスを行います。

(安定経営)

2 コスト意識をもち、より安定的な経営を目指します。

- ・空床ができた時にはケアマネとの連携を図りすぐに対応ができ、月平均1日9人以上の利用を目指します。
- ・介護報酬改定に対して上位加算の取得を目指します。
- ・併設特養との連携を強化し、空床利用の受入れを行います。

(人材育成)

3 職員研修を実施し資質向上とサービスの専門性を高めます

- ・職場研修を計画的に実施し介護技術レベルの安定や向上を図ります。
- ・法人内また外部講師を活用し個人の資格取得を目指します。
- ・守秘義務を守り利用者様のことを考えて支援できる職員を目指します。

(業務改善)

4 業務改善マネジメントを強化し、サービスの質の向上を目指します。

- ・常に業務改善ができるよう職員で話し合いができる環境をつくります。
- ・ICTを活用し職員間や外部への情報共有ができるよう日頃の記録整備に努めます。
- ・コスト意識を持って設備・備品の点検整備の有効活用を行います。